

行政事業レビューシート (文部科学省)						
予算事業名	地域人材の活用による文化活動支援事業		事業開始年度	平成19年度		作成責任者
担当部局庁	文化庁		担当課室	芸術文化課		芸術文化課長 山崎 秀保
会計区分	一般会計		上位政策	芸術文化の振興		
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	文化芸術振興基本法 第14条		関係する計 画、通知等	文化芸術の振興に関する基本的な方針		
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	地域の文化芸術人材を活用し、学校での文化芸術にかかる指導、放課後や休日等における文化芸術活動を地域で支援する体制を整備し、子どもたちが身近に文化芸術に触れる機会を提供し、豊かな情操を養うことを目的とする。					
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	学校(主に中学校・高等学校)の文化部活動等を一層促進するための外部指導者(地域人材)の発掘・養成・活用の促進に関する実践研究や子どもたち(主に小学生)が、地域において、様々な文化芸術に触れたり、体験したりできるよう、年間を通じて実施する多種・多彩なプログラムの実施を支援。					
実施状況	箇所数: 21都道府県、47機関					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	156	138	108	-	-
	執行額	90	47	70		
	執行率	57.7%	34.1%	64.8%		
	総事業費(執行ベース)	90	47	70		
自己点検	支出先・ 使途の把握水準・ 状況	予算の執行に関して、支出委任先の開催都道府県において報告書等の確認を行うとともに、文化庁においても都道府県からの報告を受け担当者の意見聴取等を行うなど、国費支出の適正性を確保している。				
	見直しの 余地	平成21年度限りで事業廃止				
予算 チーム 監視 の・効 率化	本事業については財務省の予算執行調査の指摘を踏まえ、平成21年度をもって廃止している。					
補 記						

文化庁
70百万円

学校の文化部活動等を一層促進するための外部指導者の発掘等に係る実践研究や子どもたちが地域において、様々な文化芸術を体験できるようなプログラムの実施を支援。



都道府県(全21機関)
70百万円

地域人材の活用による文化活動支援事業に必要な経費を支出。



【公募・請負】

A. 実行委員会等
(全47機関)
70百万円

学校の文化部活動等を一層促進するための外部指導者の発掘等に係る実践研究や子どもたちが地域において、様々な文化芸術を体験できるようなプログラムを実施。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

A.南あわじ市地域人材の活用による 文化活動支援事業実行委員会			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
諸謝金	報告書執筆謝金、講師謝金、指導者謝金	5			
旅費	実行委員会出席旅費、講師等旅費	1			
計		6	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

「複数支出先ブロック」の支出先一覧(上位10機関)

地域人材の活用による文化活動支援事業

	支出先	支出額(百万円)
1	石川県	13
2	兵庫県	10
3	北海道	8
4	栃木県	6
5	神奈川県	5
6	島根県	4
7	茨城県	4
8	東京都	4
9	山口県	4
10	和歌山県	3
	その他	9
合計		70

「複数支出先ブロック」の支出先一覧(上位10機関)

A 地域人材の活用による文化活動支援事業

	支出先	支出額(百万円)
1	南あわじ市地域人材の活用による文化活動支援事業実行委員会	6
2	石川ジュニア・ジャズ・アカデミー運営委員会	6
3	札幌の劇場連携による子どもたちの舞台体験事業実行委員会	5
4	文化体験プログラム金沢市実行委員会	4
5	音のまち山陽小野田実行委員会	4
6	アクションプラン実行委員会	3
7	子ども文化芸術体験推進実行委員会	3
8	足利子ども文化支援プロジェクト	3
9	川崎市文化活動支援事業実行委員会	3
10	いわみ子ども文化芸術体験実行委員会	2
	その他	31
合計		70